

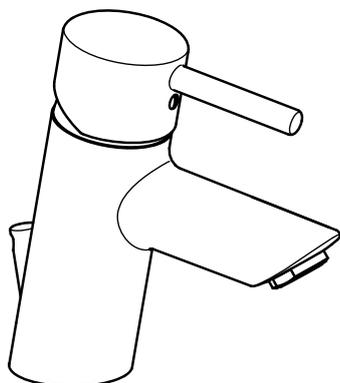
# 施工・取扱説明書

この製品が正しく取付される様に、説明書に沿って行って下さい。  
この説明書以外の方法で施工や使用され、故障が生じた場合は、保証致しかねますので、ご注意下さい。

この説明書及び付属工具は、お客様で大切に保管して下さい。

## HANSA VANTIS STYLE

HS-5240.2277-1ST



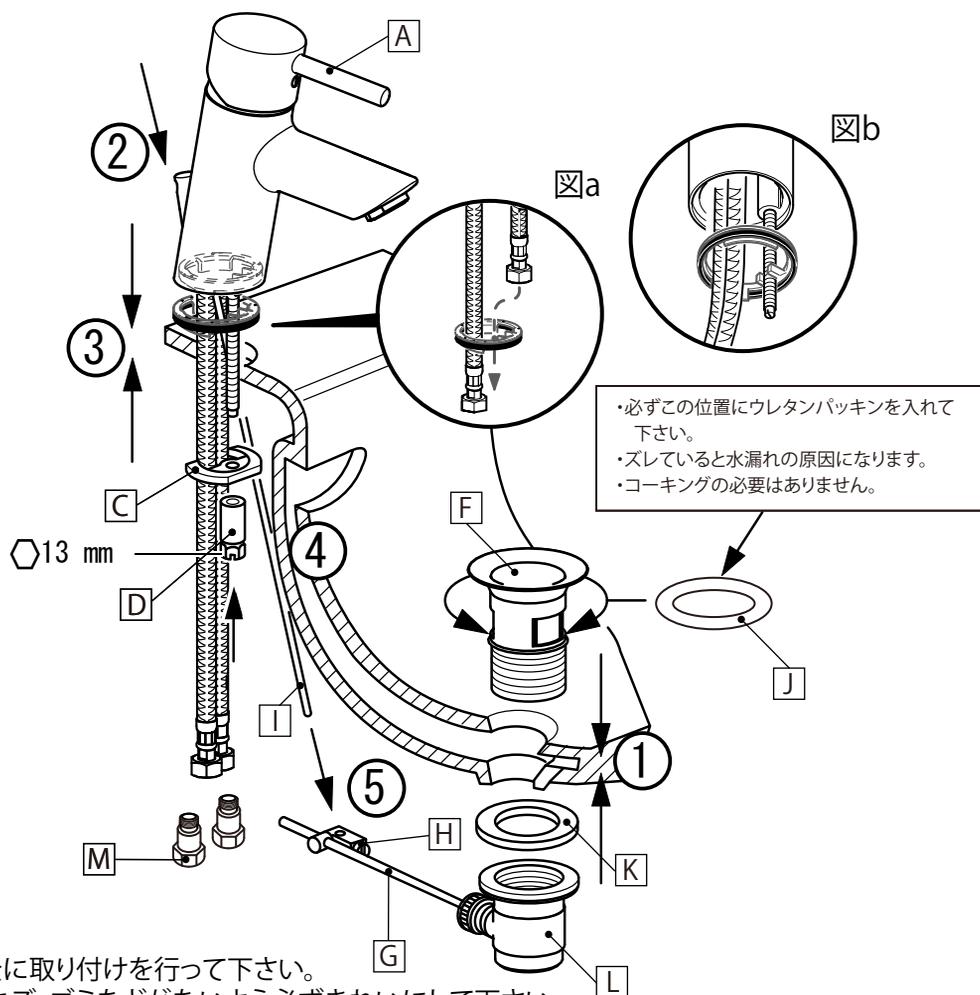
### 目次

1. 各部名称と取付手順
2. 給水部の取付方法  
排水栓の取付方法
3. ご使用上の注意  
ご使用方法  
お手入れ方法
4. カートリッジ交換  
お湯の角度を調整  
エアレーター交換
5. こんなときは故障?その前に

カートリッジ品番 HS-5991.3075(1段階)  
エアレーター品番 HS-5991.3727(6ℓ規制)

## 各部名称

- A 本体
- C 馬蹄型ワッシャー
- D 取付ボルト
- F 排水栓
- G ロッド 横棒
- H ユニバーサルジョイント
- I ポップアップ棒
- J ウレタンパッキン
- K 硬質ゴムパッキン
- L 化粧ナット
- M 逆止弁



## 取付上の注意

1. 取り付け前によく手順を理解して、安全に取り付けを行って下さい。
2. 接続部分、ネジ部分、Oリングに汚れ、キズ、ゴミがないよう必ずきれいにして下さい。
3. お湯と水の接続は逆にならないようにして下さい。
4. ホースの取り付けは必ずよじれなどのないようにして下さい。
5. お湯、水の調整、点検のため必ず、止水栓をご使用下さい。
6. 本体はクローム仕上げですが、取り付けの際には、本体にキズをつけないように十分に注意して下さい。
7. 配管の中に、ゴミ、砂などがある場合がありますので、必ず掃除してから本体を取り付けして下さい。
8. カウンターへの取り付け穴はΦ35mmで取り付けして下さい。
9. 取付厚み最大40mmまで取付可能です。
10. 本品の有効水圧は0.2~0.3Mpaの範囲で正常に機能します。この有効水圧を確保して取り付けして下さい。

**0.2~0.3Mpa以外の水圧でご使用した場合は保証の対象外となります。**

## 各部名称

### ①排水栓(F)の取付けを行います。

化粧ナット(L)の上部に硬質ゴムパッキン(K)を入れ、下から強く締付け下さい。

※必ずウレタンパッキン(J)を入れて下さい。

※付属の排水栓は、オーバーフロー専用排水栓です。オーバーフローがない洗面器を使用する際は排水栓を別途ご用意下さい。

### ②蛇口本体(A)にポップアップ棒(I)を差し込みます。

### ③蛇口本体(A)を取付け穴にセットします。

※必ず蛇口台座パッキンを取付けて下さい。また、固定リングに図a→図bの手順で取り付けして下さい。

### ④蛇口本体(A)を固定します。

馬蹄型ワッシャー(C)、取付ボルト(D)を取付穴の下側に取付け、締めあげて下さい。

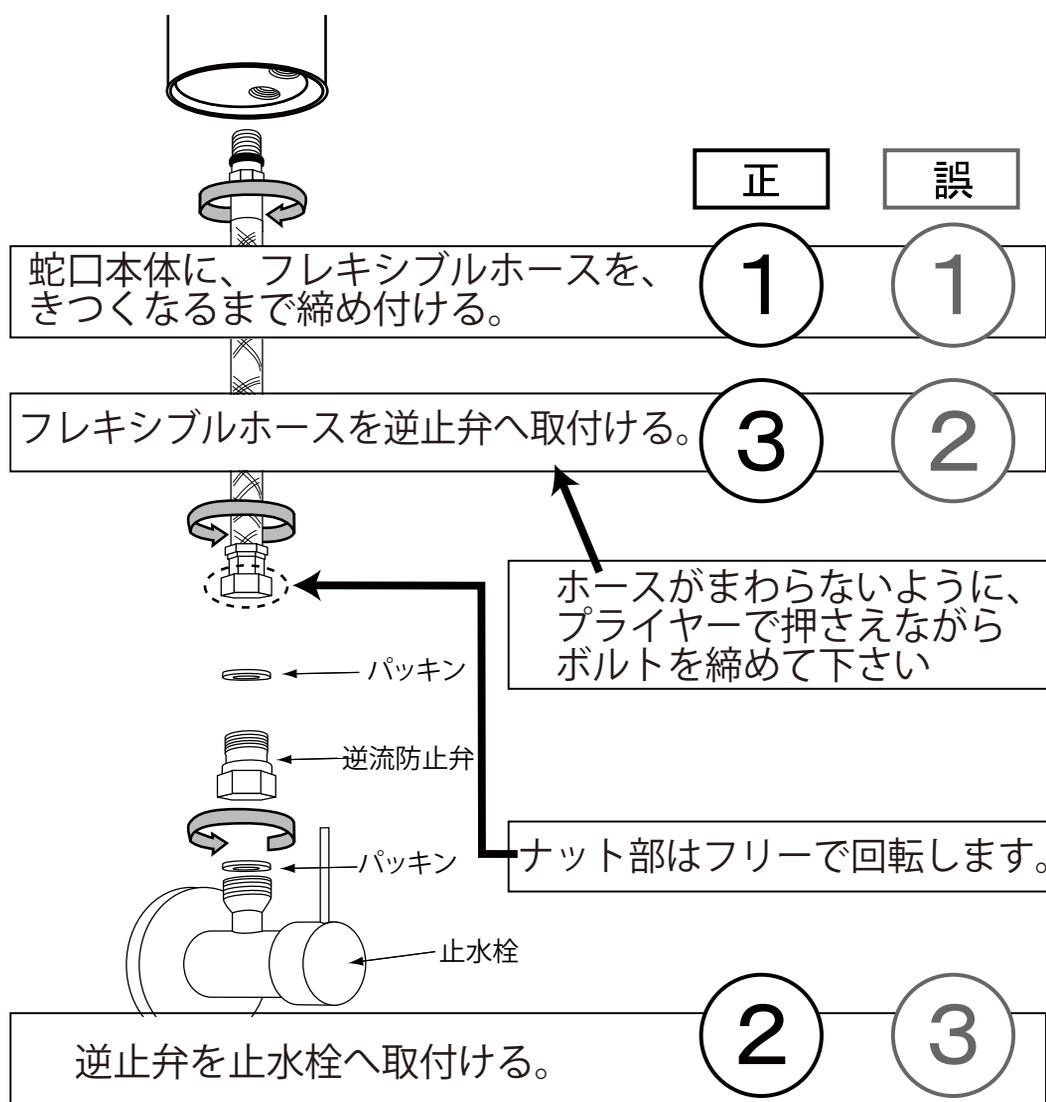
ナットが確実に締め付けていないと、本体が傾いたり、漏水することがあります。

### ⑤ポップアップ棒(I)とロッド横棒(G)をユニバーサルジョイント(H)で繋ぎます。

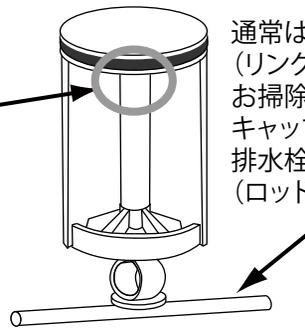
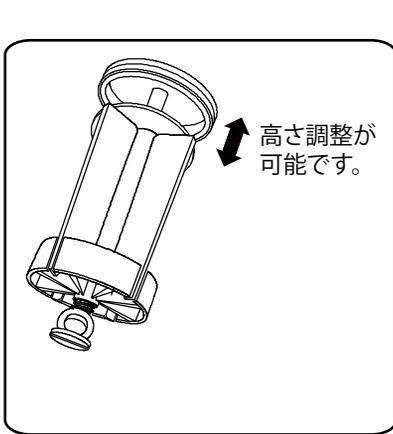
レバーを引き上げた時にポップアップが下がりきるように、引き上げた時にポップアップが上がるようにして下さい。

※ポップアップレバーがフレキシブルホースにあたって動きにくい場合があります。その際は、ポップアップレバーがスムーズに可動するようにフレキシブルホースを調整して下さい。

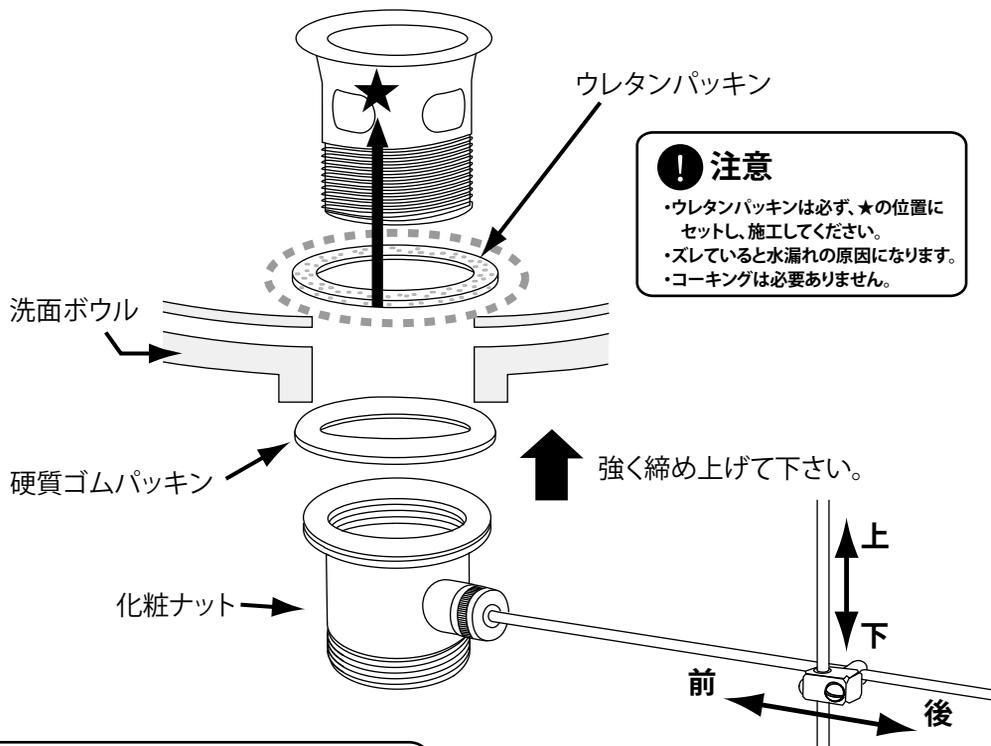
間違った施工（**誤**の手順）で取付けを行うと、①がゆるみ、水漏れの原因になります。



パッキンの緩みは水漏れの原因です。パッキンが潰れるまでしっかり締め込んで下さい。  
一度締めたパッキンは使用せず、新しいパッキンをご使用下さい。



通常はリングに通さず、上へのせて下さい。  
 (リングに棒を通した場合、紛失防止になりますが、お掃除できなくなります。)  
 キャップの紛失する可能性があるような場所に設置の場合、排水栓ロッド横棒を通してご使用下さい。  
 (ロッド横棒を通して通さなくても、どちらでもご使用頂けます。)



**！ 注意**

- ・ウレタンパッキンは必ず、★の位置にセットし、施工してください。
- ・ズれていると水漏れの原因になります。
- ・コーキングは必要ありません。

**！ 注意**

- ・通水検査時に、必ず金具の締め付け及び漏水していないかご確認ください。
- ・ズれていると、水漏れの原因になります。

**！ 注意**

矢印の方向に動かし、調整してください。  
 締め付け、及び取付け位置を間違えると、ホップアップが機能しません。  
 マイナスドライバーで緩めることができます。

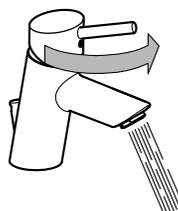
ポップアップジョイント金具

- 1.温泉には使用しないで下さい。成分により、フレキシブルホース、クロムメッキの劣化などが起きる可能性があります。
- 2.器具半分はお湯が流れます。金属部分が熱くなることがあります。
- 3.押したり、叩いたり、無理な力を掛けしないで下さい。故障の原因になります。
- 4.お湯を止める時は、レバーハンドルを水側にしてから止めて下さい。滞留した高温のお湯が次に出ないようにするためです。
- 5.専門業者の方以外は分解・改造・修理などしないで下さい。
- 6.2ヶ所以上の同時使用の場合は、高温変化に気を付けて下さい。
- 7.吐水を止める時、レバーハンドルの操作はゆっくり丁寧に行って下さい。配管にストレスがかかり、故障の原因となります。
- 8.ポップアップ連結棒にタオルや荷物などが干渉すると、不具合が生じることがありますので、連結棒の廻りにはタオル、荷物など置かないようにして下さい。

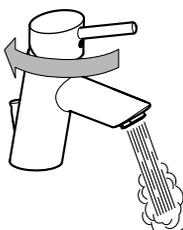
# ■ ご使用方法



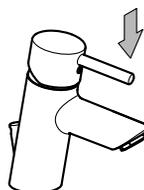
●レバーを上げる ⇨ 吐水



●レバーを右にまわす ⇨ 水



●レバーを左にまわす ⇨ 温度が上がる



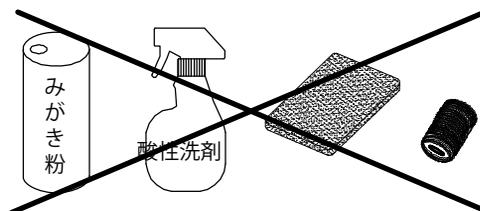
●レバーを下げる ⇨ 止水

# ■ お手入れ方法

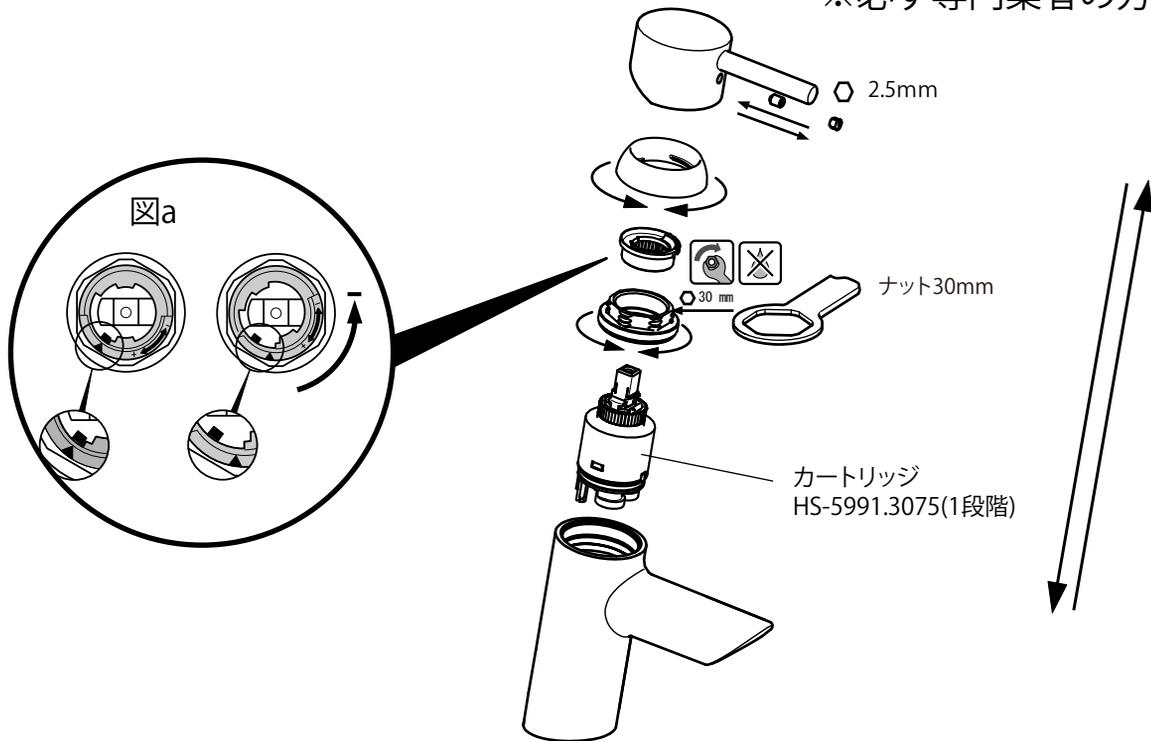
- 1.軽い汚れの場合は、OA用クリーニングクロスで汚れを拭きとって下さい。
- 2.ひどい汚れの場合は、綺麗な布を水で適度に薄めた中性洗剤に浸し、固く絞ってから汚れを拭き取り、その後キメの細かい布で乾拭きして下さい。

## ⚠️ お願い

- ・クレンザー（みがき粉）など粒子の粗い洗剤やスチールナイロンタワシは使用しないで下さい。
- ・酸性はメッキや樹脂部を痛めますので、絶対に使用しないで下さい。  
(酸が染み混んでいる雑巾、布等も不可)タイルなどを酸洗いした場合は必ず固く絞った布で十分に拭きとって下さい。



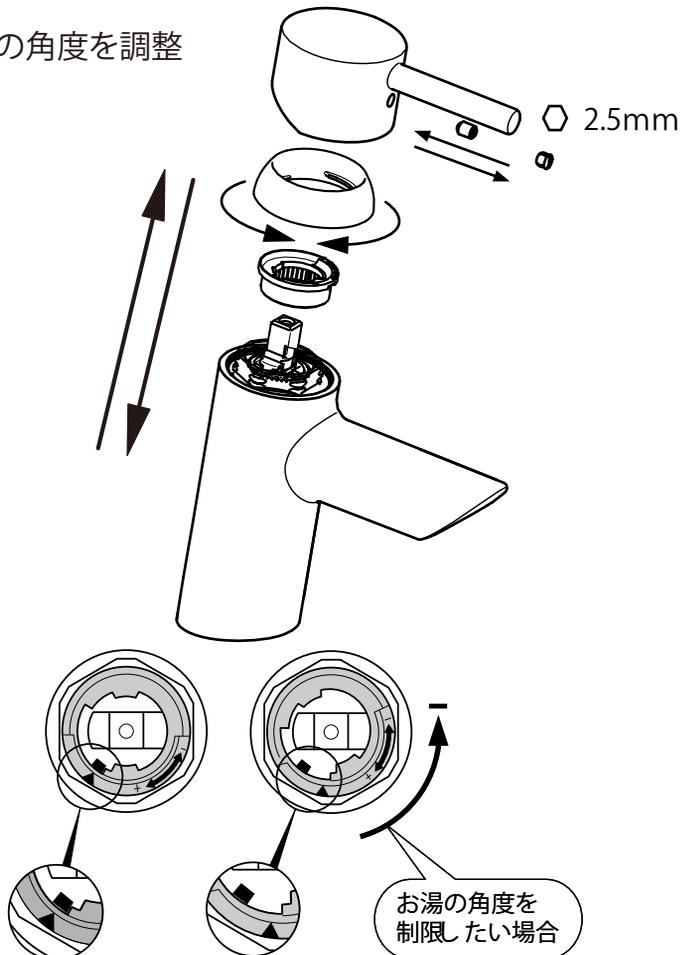
※必ず専門業者の方に御依頼下さい。



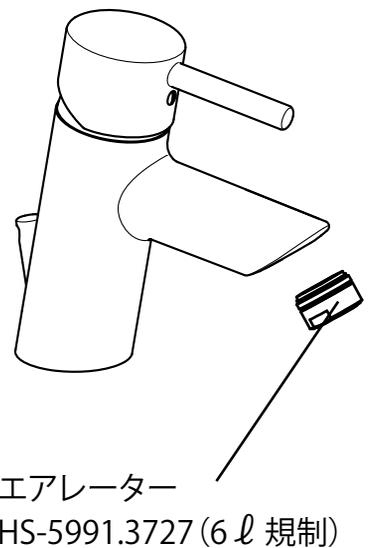
1. 止水栓をしめてから行って下さい。
2. 六角レンチでイモネジを外してハンドルを外してハンドルを本体から外して下さい。
3. お湯が出ないようにして下さい。(図a)
4. ナットでカートリッジ固定リングを外して下さい。
5. カートリッジを外して交換して下さい。
6. 取り付ける際は取り外した逆の手順で取付をして下さい。

■ お湯の角度を調整・エアレーター交換

お湯の角度を調整



エアレーター交換



エアレーター  
HS-5991.3727 (6ℓ 規制)

● 水の出が悪い。

原因	対処方法
給水ホースがねじれている。	ホースをまっすぐにしてから、給水のさまたげが無いように取付けて下さい。
止水栓が開いてない。	水の出が良くなるように止水栓の調整をして下さい。
エアレーターにゴミがたまっている。	エアレーターをはずし、ゴミをキレイに取って下さい。
給湯器の水圧が弱い。	本体は、給水・給湯ともに0.2~0.3Mpaの水圧が必要です。
カートリッジ内部にゴミがつまっている。	カートリッジの交換をして下さい。

● 蛇口上部から水が漏れる。

原因	対処方法
Oリングがずれている。	カートリッジの下2つのOリングがうまくはまっていない時にも上部から水漏れをおこします。
上フタがキチンと締まっていない。	蛇口上部のトッププレートを締めつけすぎ、またはゆるいと、水漏れにつながります。トッププレート上部のゴムパッキンがよじれているか汚れが付いているためです。キレイにして下さい。
カートリッジのつまり。	カートリッジ不良の場合は交換して下さい。

● 水がはねる。

原因	対処方法
水の圧力が強すぎる。	止水栓で調整して下さい。 (お湯と水が1:1位になるように調整して下さい。)
エアレーターにゴミが入っている。	エアレーターをはずし、中のゴミを取り除いて下さい。

● 完全に水が止まらない。

原因	対処方法
カートリッジ下部のパッキンのズレ。	カートリッジ調整を行って下さい。それでも止まらない場合はカートリッジ交換をして下さい。